

月曜かい

MHS(バドミントン同好会)

2024年5月13日

「シャトルの話」

品質管理課

赤井

MHSは2008年5月に発足したバドミントン同好会です。今年で16年目になります。

2024年現在、登録人数は 31 名

隔週で活動しています。

今回はシャトルのお話です。

ホームセンターや玩具店で見かけるバドミントンセットにはビニール製のシャトルがセットで付いてきます。

公園等で見かける人もビニール製のシャトルを使用しています。

一方で部活や大会等は水鳥の羽根を使用します。

ビニール製は耐久力に優れており、コストパフォーマンスが良いのですが、シャトルの飛び易さ、飛びの安定度は水鳥のシャトルの方が断然良いです。

先日MHSで使用するシャトルを購入に行ったところ、いつも使用しているシャトルが無く、店主によると全国的にシャトルが不足しているとのこと。

シャトルを1つ作るのに食用のガチョウ2~8羽の羽根を厳選して使用するそうで、昔みたいに日本が程度の良いものを入手できない様子。

また値段も同等レベルのもので10ダース40,000円が相場となっていました。

※MHS発足当初は10ダース22,000円

世知辛い世の中ですね。。。

64期は5/21(火)から3週に1度開催予定です。

興味がある方は連絡お待ちしております。



ビニール製



水鳥の羽根